

令和 3年度

事務事業評価表 ( 令和 2年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名		多面的機能支払交付金事業					事業区分		担当	
							新規/継続	継続	事務事業No.	040104000861
							単独/補助	補助	所属課	050101
政策 体系	総合計画の施策名	0401 農林業の振興							課長名	農林課
	政策名	04 活力ある産業のまちづくり							グループ	農政G
	施策名	01 農林業の振興							担当者名	
	手段名	04 ④農村環境の保全								
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		単年度繰返し ( 年度~)	
	01	06	01	05	08	00	多面的機能支払交付金事業		← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	
法令根拠		桜川市多面的機能支払交付金要綱								

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
<p>①事務事業の概要 (事務事業の全体像)</p> <p>【事務事業の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多面的機能支払交付金</li> <li>・農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域住民が一体となって行う農地・農業用水等の資源や農村環境の保全及び農業用施設の長寿命化などの活動に対する交付金事業</li> </ul> <p>【事業費の内訳】</p> <p>補助金 国50% 県25% 市25%</p>	<p>②担当者が行う業務の内容・やり方・手順</p> <p>【担当者が行う業務の手順】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が円滑に推進し、交付団体が適正に活動するよう指導する。</li> <li>・活動内容が年度計画遂行しているか確認する。</li> <li>・各申請書及び実績報告書類の確認。</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<p>【担当者が行う業務の手順】</p> <p>事業が円滑に推進し、交付団体が確実に活動するよう指導する。</p> <p>活動内容が年度計画遂行しているか確認する。</p>	活動組織	組織	65.00	63.00	63.00	63.00	63.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
<p>事業の計画申請実績報告・活動組織への交付金支払事務・実施状況報告書の事務確認。現地検査・数量検査。茨城県に報告。</p>	農地維持支払実施面積	ha	1,844.20	1,807.20	1,807.20	1,807.20	1,807.20
	資源向上共同 //	ha	1,773.10	1,736.10	1,736.10	1,736.10	1,736.10
	資源向上長寿命化 //	ha	1,671.50	1,634.50	1,634.50	1,634.50	1,634.50
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
<p>農業者等による活動組織が取り組む、水路の泥上げや地域資源の基礎的保全活動、共同活動を支援し、良好な保全といった地域資源の質的向上を図る。</p>	自然環境を守る行動を行った割合	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	(地域の美化清掃活動等)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移				01年度	02年度	03年度	期間限定 総投入量	
				(実績)	(実績)	(計画)		
投入 量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	55,824	71,383	82,042	0
			県支出金	千円	27,912	35,091	38,491	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	32,010	35,463	41,864	0
	事業費計 (A)			千円	115,746	141,937	162,397	0
		正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

02年度事業費 実績 (千円)		03年度事業費 予算 (千円)	
01 報酬	1,569	01 報酬	1,687
18 負担金補助及び交付金	140,368	18 負担金補助及び交付金	160,710
合計		合計	
		162,397	

事務事業名	多面的機能支払交付金事業	事務事業No.	40104000861	所属課	農林課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
農地の環境保全と地域の活性化のために、平成19年度より農地・水保全管理支払交付金事業が開始され、現在、多面的機能支払交付金事業に移行し、農地や農道等の維持管理や水路の補修等に交付金を活用している状況である。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
交付金を活用するために、活動記録や出納簿等の作成、また施設の修繕のための工事契約等事務負担が大きい、また、今後の当該事業の事務を担ってもらう人材が、いないという声がある。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の保全や農業経営の安定化が図られる。</li> </ul>
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全向上対策事業については公共性が高い。</li> </ul>
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状維持。</li> </ul>
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作放棄地の増加と農業施設の管理ができなくなり、農業経営への影響と各種事業が効果的に実施できない。</li> </ul>
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <ul style="list-style-type: none"> <li>類似事業がないため、統合できない</li> </ul>
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施団体は地区内の組織であり、会計年度任用職員の報酬を交付金で充当している。</li> </ul>	
⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内における農業施設を保持している地区対象であるため公平性を保っている。</li> </ul>	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	・組織数が63組織になり、事務作業が煩雑かつ膨大になっているが、市独自のマニュアルを作成し、書類作成の手順等を十分に周知・指導し、事務作業の効率化を図った。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input type="checkbox"/> ③																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>